

平成27年度
岡山県学力・学習状況調査

調査結果を活用した授業改善のポイント



岡山県教育庁義務教育課

国語





結果の概要①

平成27年度岡山県学力・学習状況調査結果を活用した授業改善のポイント【国語】

○ 国語科平均正答率

※()内はH26年度結果

※今年度は「話す・聞く能力」に関わる問題は出題していない。(%)

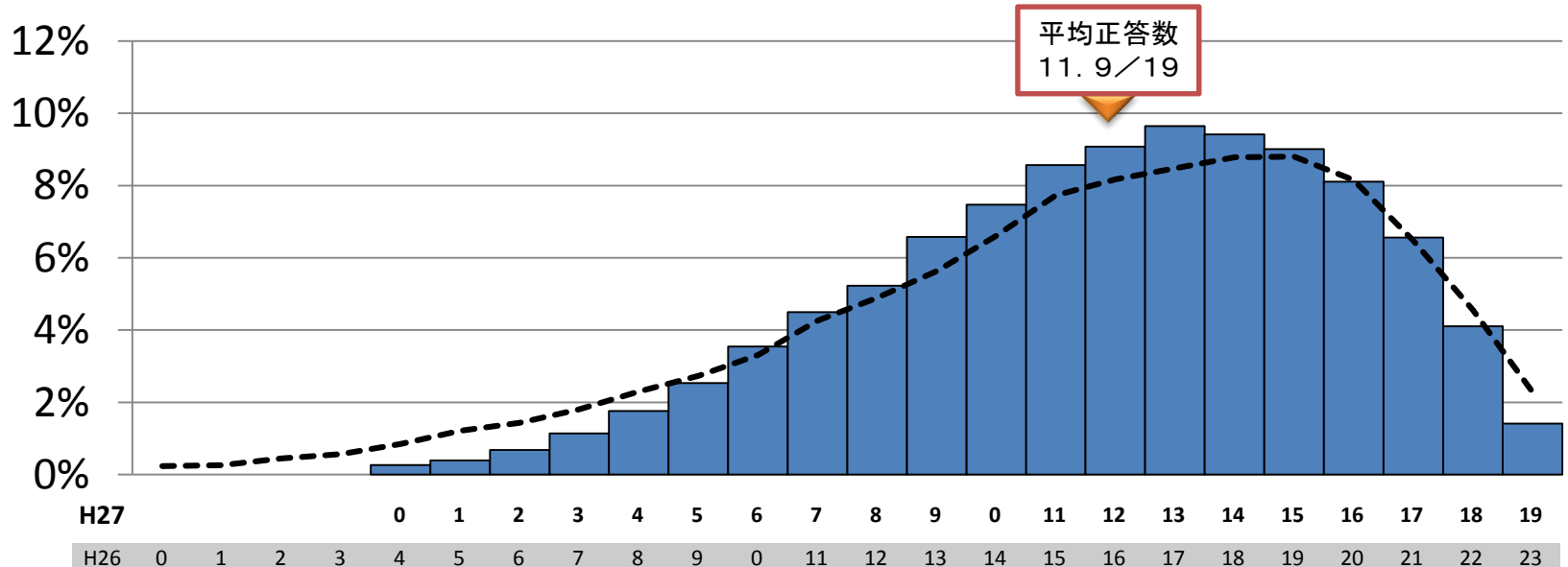
国語	平均正答率	観点別平均正答率			
		話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
	62.7 (67.4)	— (71.4)	56.8 (—)	44.3 (42.9)	68.2 (79.3)

○ 国語科正答数度数分布

横軸：生徒ごとの正答した設問の数

縦軸：生徒数の割合

■ 今年度県 - - - 前年度県



結果の概要②

平成27年度岡山県学力・学習状況調査結果を活用した授業改善のポイント【国語】

○ 設問ごとの状況

大問 番号	中間 番号	小問 番号	出題のねらい	観点	正答率	無解答率	正答率グラフ			
							0	20	40	60
1	(1)	①	小学校で学習した漢字(敬う)を読むことができる。	言	81.2		[Bar chart showing 81.2%]			
		②	小学校で学習した漢字(収納)を読むことができる。	言	93.1		[Bar chart showing 93.1%]			
		③	小学校で学習した漢字(招待)を読むことができる。	言	97.9		[Bar chart showing 97.9%]			
		④	小学校で学習した漢字(目次)を読むことができる。	言	98.3		[Bar chart showing 98.3%]			
	(2)	①	小学校で学習した漢字(イワウ)を書くことができる。	言	53.9		[Bar chart showing 53.9%]			
		②	小学校で学習した漢字(ヒキいる)を書くことができる。	言	60.9		[Bar chart showing 60.9%]			
		③	小学校で学習した漢字(玉ウける)を書くことができる。	言	55.4		[Bar chart showing 55.4%]			
		④	小学校で学習した漢字(トウヒョウ)を書くことができる。	言	46.2		[Bar chart showing 46.2%]			
2	(1)	文の意味のつながりを考えて、一文を二文に分けて書くことができる。	言	50.7		[Bar chart showing 37.6%]				
	(2)	主語と述語を理解することができる。	言	57.3		[Bar chart showing 57.3%]				
	(3)	①	故事成語を理解することができる。	言	46.1		[Bar chart showing 56.0%]			
		②	慣用句を理解することができる。	言	77.2		[Bar chart showing 77.2%]			
3	(1)	目的や意図に応じ、文章全体の構成の効果を考えて書くことができる。	書	50.2		[Bar chart showing 50.2%]				
	(2)	①	目的や意図に応じ、文章全体の構成の効果を考えて書くことができる。	書	64.5		[Bar chart showing 64.5%]			
		②	目的や意図に応じ、文章全体の構成の効果を考えて書くことができる。	書	75.9		[Bar chart showing 75.9%]			
	(3)	目的に応じて文章を読み取り、それを良くするための意見を提案することができる。	書	27.9		[Bar chart showing 27.9%]				
	(4)	目的に応じて文章と意見を読み取り、条件に沿ってまとめを書くことができる。	書	65.6		[Bar chart showing 65.6%]				
4	(1)	文章の内容を整理して、時系列を正しく理解することができる。	読	26.8		[Bar chart showing 26.8%]				
	(2)	文章を読んでうかんだ疑問点について、新たに資料を使って自分で調べて学習することができる。	読	61.8		[Bar chart showing 61.8%]				
					67.4	-	[Bar chart showing 67.4%]			

漢字の読みや文法等に成果が見られるものの、漢字の書きについては、確実な定着に向け、更なる取組が必要。

過去課題のあった設問の類似問題において改善。

主語と述語の関係など、基礎的・基本的な言語事項の正確な理解と、目的や意図に応じて、自分の考えや意見を記述する設問に課題。

成果

- 基礎的・基本的な知識・技能を問う設問においては、漢字の読みや文法等に成果が見られ、特に過去の調査で課題であった同一・類似の設問において改善が見られた。

課題

- 漢字の書きについては、確実な定着に向け、更なる取組が求められる。
- 主語と述語の関係など、基礎的・基本的な言語事項についての正確な理解を促す取組が求められる。
- 目的や意図に応じて、文章全体の効果やよりよくするための考えや意見を記述する設問において正答率が低く、無解答率も高い。引き続き目的に応じた読み取りの力や、書くことに重点を置いた指導が必要。



調査結果を活用した授業改善のポイント

平成27年度岡山県学力・学習状況調査結果を活用した授業改善のポイント【国語】

6

- ① 課題の見られた調査問題の設定状況や内容から、どのような力が問われているかを読み解く。
- ② 問題の趣旨、正答の条件から、評価規準を明確にする。
- ③ 解答類型から、児童生徒の実態を把握する。
- ④ 生徒質問紙から、授業を検証する。
- ⑤ 中学校区で授業改善に取り組む。
- ⑥ 読書活動の充実に努める。
- ⑦ 求められている力を育むための指導例。

②問題の趣旨、正答の条件から、評価規準を明確にする

平成27年度岡山県学力・学習状況調査結果を活用した授業改善のポイント【国語】

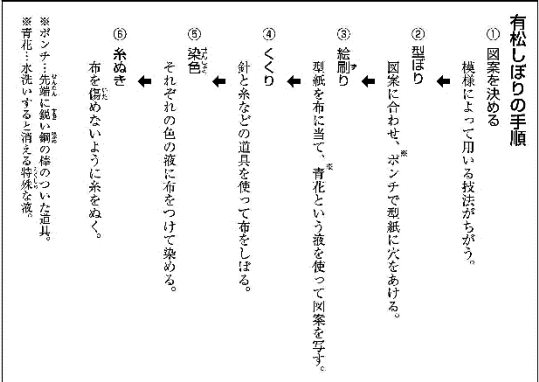
◆ 出題のねらい

目的に応じて文章を読み取り、それをよくするための意見を提案することができるかどうかをみる。

③ 大下さんたちは、「編集会議で出た意見」に従って、「下書きC」を、下のように書き直しました。どのような意見が出たと考えられますか。出た意見としてあてはまらないものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きなさい。

- 1 「作業の手順がくわしく説明されているけれど、ここまできわしく書かなくてもよいのではないのでしょうか。」
- 2 『ポンチ』『青花』など、わかりにくい言葉が出てきているので、説明した方がよいと思います。」
- 3 「作業の手順がよくわかるように、文章の段落を分けて書いていただろうですか。」
- 4 「矢印や記号を使って簡条書きにしたり、文字の大きさを変えたりすると、見る人もわかりやすいと思います。」

【下書きC】
有松しぼりの手順
初めに、模様(もよう)の図案を決めます。模様によって、用いるしぼり技法(しぼり)がちがうので、一枚の布を、複数の技法でしぼることもあります。図案ができたら、型紙(かたがみ)を作ります。これを「型ほり」と言います。ポンチ(ポンチ)で型紙に直径二、三ミリメートルの穴をあけ、しぼる箇所の目印(めいじる)にします。こうしてできた型紙を布に当て、青花(あおばな)を使って図案を写していきます。これを「絵刷り」と言います。絵刷りができたら、針や糸などの道具を使ってしぼっていく、「くくり」の作業です。複数の技法を使ってしぼる図案の場合は、何人もの職人が関わります。しぼりが終わった布は、工場(工場)に運ばれ、それぞれの色の液(えき)につけて染められます。この作業を「染め」と言います。最後に染まった布を乾かしてから、布を傷めないように「糸ぬき」をします。



	正答率	無解答率
(3)	27.9	3.0



③解答類型から、児童生徒の実態を把握する

◆ 解答類型と反応率

解答類型	正誤	反応率
「1」と解答しているもの 「作業の手順がくわしく説明されているけれど、ここまでくわしく書かなくてもよいのではないのでしょうか。」	×	43.4
「2」と解答しているもの 『ポンチ』『青花』かど、わかりにくい言葉が出てきているので、説明したほうがよいと思います。」	×	13.8
「3」と解答しているもの 「作業の手順がよくわかるように、文章の段落を分けて書いたらどうですか。」	◎	27.9
「4」と解答しているもの 「矢印や記号を使って箇条書きにしたり、文字の大きさを変えたりすると、見る人もわかりやすいと思います。」	×	11.6
上記以外の解答	×	0.3
無解答	×	3.0



③ 解答類型から、児童生徒の実態を把握する

どの段階までの力が身に付いているか？

オ 推敲

<低学年>

文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いなどに気付き、正すこと

<中学年>

文章の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりすること

<高学年>

表現の効果などについて確かめたり、工夫したりすること

カ 交流

<低学年>

書いたものを読み合い、よいところを見つけて、感想を伝え合うこと

<中学年>

書いたものを発表し合い、書き手の考えの明確さなどについて意見を述べ合うこと

<高学年>

書いたものを発表し合い、表現の仕方に着目して助言し合うこと



③解答類型から、児童生徒の実態を把握する

「オ 推敲」に関する指導事項

「表現の効果などについて確かめる」とは？

自分の考えなどを明確に表現しているか
相互関係が明快な構成であるか
表現の曖昧さはないか

推薦書や推薦文
紹介のためのポスター
案内のための小冊子

「工夫したりする」とは？

相手が読んで理解しやすいように更に改善できる部分について、よりよいものにする

そのためには...

読み手の立場から客観的に評価することが必要であり、
自己評価に加えて相互評価を積極的に位置付けることが必要

□ 授業の中での...

- 日常的な 文づくり、言葉あつめの自己評価
- 隣り同士、グループ内での交流による相互評価

など





③解答類型から、児童生徒の実態を把握する

「力 交流」に関する指導事項

「書いたものを発表し合う」とは？

記述した内容そのものに加えて、書こうとした意図（誰に向かって、どのような目的で、どのような表現を用いて）などを述べることも必要。

「表現の仕方に着目して助言し合う」とは？

書く目的や意図に応じた文章構成や表現になっているか、具体的に助言する。
修正すべき内容＋どのように書き換えればよいのか

そのためには...

互いが書き上げた文章の良さを感じ取りながら、相手に助言することで
自分の考えを深めたり自分の表現の参考にしたりする

□ 授業の中での...

- 日常的な 文づくり、言葉あつめの自己評価
- 隣り同士、グループ内での交流による相互評価

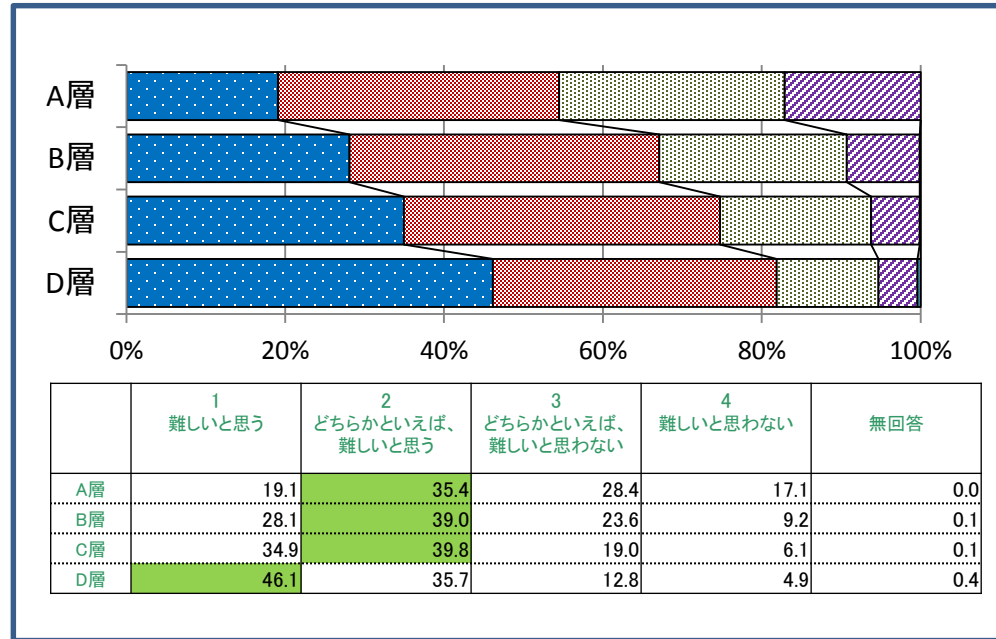
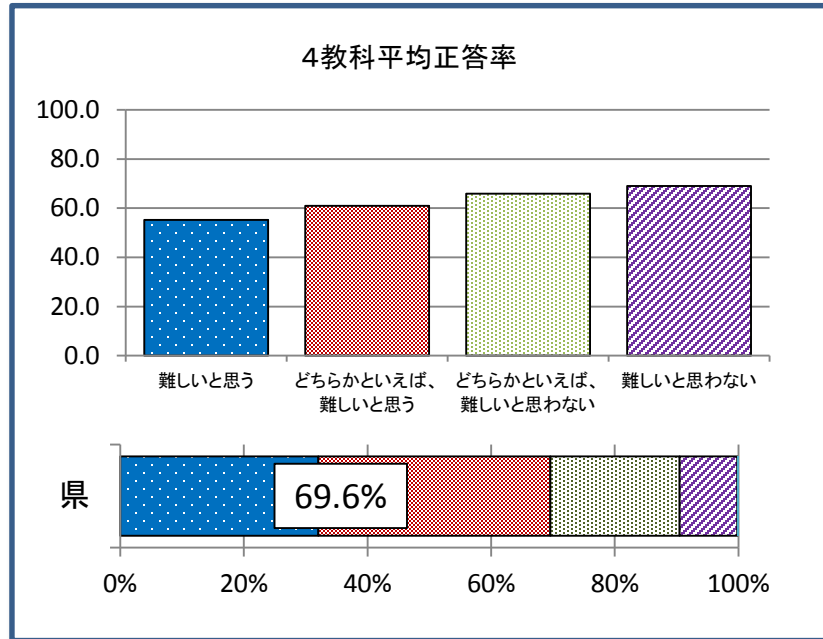
など





④生徒質問紙から、授業を検証する

【生徒質問紙(32)】学校の授業などで、自分の考えをほかの人に説明したり、文章に書いたりするのは難しいですか。



- ❑ 岡山県全体で69.6%の生徒が「難しい」「どちらかといえば難しい」と回答しています。
- ❑ 学力階層別に見ると、D層の生徒の約半数が「難しい」と回答しています。
- ❑ 一方、90.8%の生徒が、「授業の中で、自分の考えを持つ時間があつた」と回答しています。
- ❑ 自分の考えを持つ時間を確保するだけでなく、考えを書く活動や、与えられた条件にあつた文章を書く活動など、丁寧に指導することが必要です。



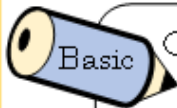
※A～D層は、県全体の生徒を正答率の高い順に人数比で上位から25%ごとに4区分したものの。



④生徒質問紙から、授業を検証する

◆ 自分の考えを持ったり、友達に説明したりする力を身に付けさせるためには...

②自分で考え、表現する時間を確保する



- 一人一人の児童生徒が、めあてに対する自分の考えをもち、その考えを表現することができる方法を示します。
- もった考えを交流することで、考えを深めたり広げたりすることができるようにします。

一緒に考える



□ 考えをまとめたり、書いたりする時には、児童生徒の発達段階に応じて、字数の制限をしたり、根拠を明らかにした記述になるよう条件を付したりすることも考えられます。



児童生徒一人一人に、「伝えたい、他の人の考えを聞きたい」と思える「自分の考え」をもたせることが重要です。
グループ学習においても必ず自分の考えをもって話し合いに臨むようにさせることが大切です。

○自分の考えをもつために

- * 児童生徒が、めあてに対する自分の考えをもつために、教員は思考・表現の手がかりとなるものを示したり、準備したりします。
- ・考える視点の提示
- ・ワークシートの工夫
- ・資料等の量的・質的充実 など

HINT !

○発表して終わりにしないために

- * グループ学習・ペア学習を行う場合は、話し合うこと自体を目的にするのではなく、互いの考えを交流することで児童生徒に身に付けさせたい力を意図した学習活動を取り入れます。
- ・相手に説明する
- ・相手に説得する
- ・互いの考えを比べる
- ・発想を広げる など

HINT !

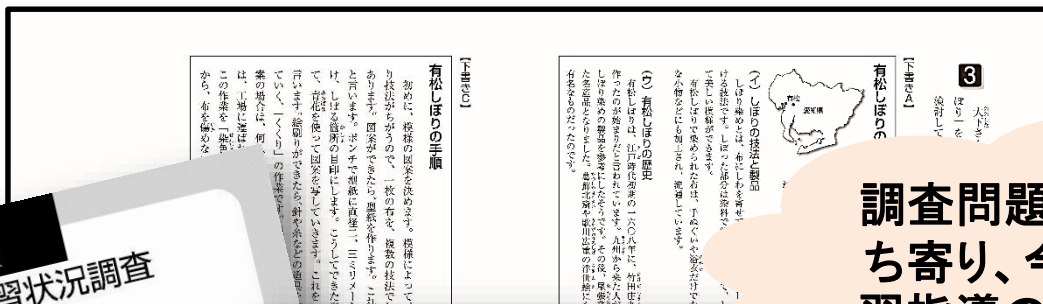




⑤中学校区で授業改善に取り組む

平成27年度岡山県学力・学習状況調査結果を活用した授業改善のポイント【国語】

◆ 系統性を踏まえた授業づくり～学年間／小・中の接続～



調査問題、調査結果を持ち寄り、今後の国語科学習指導の在り方の検討を



設問別調査結果の分析 [中1国語②]

平成26年度 岡山県学力・学習状況調査 中学校1年 国語 ②問題情報

設問番号	小問番号	問題形式	観点	記号	出典	問題の内容	領域	学習指導要領	総点	満点	偏差値	最平均との差
1	①	★	読解	◎	◎	漢字の読み		小3-4年 国語(ワイ)	1000	97.9	2.1	
2	(1) ②	★	読解	◎	◎	漢字の読み		小5-6年 国語(ワウア)	950	86.8	8.2	
3	③	★	読解	◎	◎	漢字の書き		小5-6年 国語(ワウア)	900	93.5	-3.5	
4	(1) ④	★	読解	◎	◎	漢字の書き		小3-4年 国語(ワイ)	850	83.4	1.6	
5	(2) ②	★	読解	◎	◎	漢字の書き		小5-6年 国語(ワウア)	800	81.6	-1.6	
6	③	★	読解	◎	◎	漢字の書き		小5-6年 国語(ワウア)	750	91.7	-16.7	
7	(1)	★	読解	◎	◎	文法・語句に関する知識		小1-2年 国語(イウ)	700	51.1	18.9	
8	(2)	★	読解	◎	◎	文法・語句に関する知識		小5-6年 国語(ワウア)	650	84.3	-19.3	
9	(3)	★	読解	◎	◎	文法・語句に関する知識		小3-4年 国語(イウ)	600	84.8	-24.8	
10	(4)	★	読解	◎	◎	文法・語句に関する知識		小5-6年 国語(ワウア)	550	37.6	17.4	
11	ア	★	読解	◎	◎	オープンスクールについての話し合い	話すこと・書くこと	小5-6年 国語(イウ)	500	67.4	-17.4	
12	(1) イ	★	読解	◎	◎	オープンスクールについての話し合い	話すこと・書くこと	小5-6年 国語(イウ)	450	66.8	-23.6	
13	ウ	★	読解	◎	◎	オープンスクールについての話し合い	話すこと・書くこと	小5-6年 国語(イウ)	400	82.0	-42.0	
14	(2) ①	★	読解	◎	◎	オープンスクールについての話し合い	話すこと・書くこと	小5-6年 国語(イウ)	350	86.1	-51.1	
15	(3)	★	読解	◎	◎	オープンスクールについての話し合い	話すこと・書くこと	小5-6年 国語(イウ)	300	70.0	-40.0	
16	(4)	★	読解	◎	◎	オープンスクールについての話し合い	話すこと・書くこと	小5-6年 国語(イウ)	250	67.6	-42.6	
17	(5)	★	読解	◎	◎	オープンスクールについての話し合い	話すこと・書くこと	小5-6年 国語(イウ)	200	57.8	-37.8	
18	(1)	★	読解	◎	◎	オープンスクールについての話し合い	話すこと・書くこと	小5-6年 国語(イウ)	150	64.0	-49.0	
19	(2)	★	読解	◎	◎	オープンスクールについての話し合い	話すこと・書くこと	小5-6年 国語(イウ)	100	32.8	-22.8	
20	(3)	★	読解	◎	◎	オープンスクールについての話し合い	話すこと・書くこと	小5-6年 国語(イウ)	50	63.5	-58.5	
21	(1)	★	読解	◎	◎	オープンスクールについての話し合い	話すこと・書くこと	小5-6年 国語(イウ)	0.0	31.4	-31.4	
22	(2) ①	★	読解	◎	◎	オープンスクールについての話し合い	話すこと・書くこと	小5-6年 国語(イウ)	50	30.2	-23.2	
23	(2) ②	★	読解	◎	◎	オープンスクールについての話し合い	話すこと・書くこと	小5-6年 国語(イウ)	100	35.2	-25.2	
注：総点									1000	67.4	32.6	

この問題で問われている力を付けるためには、どんな指導が必要なのだろう？

この問題は、中学校の指導内容と、どうつながっているのかしら？

「書くこと」の力がずっと課題だけど、どんなところでもつまづいているのかしら？

平成27年度 岡山県学力・学習状況調査

中学校 第1学年 国語

実施時間：45分

この問題用紙は開かず

3. 印刷ではつ

4. 筆記用具以外は、机の上に置か

1年 組

岡山県教育委員会



⑤ 中学校区で授業改善に取り組む

◆ 系統性を踏まえた授業づくり～学年間／小・中の接続～

B 書くこと「推敲」「交流」の発展系統(学習指導要領から)



	学年	推敲	交流
小学校	1・2	文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いなどに気付き、直すこと	書いたものを読み合い、よいところを見つけて感想を伝えあうこと
	3・4	文章の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりすること	書いたものを発表し合い、書き手の考えの明確さなどについて意見を述べ合うこと
	5・6	表現の効果などについて確かめたり工夫したりすること	書いたものを発表し合い、表現の仕方に着目して助言し合うこと
中学校	1	書いた文章を読み返し、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、読みやすく分かりやすい文章にすること	書いた文章を互いに読み合い、題材のとらえ方や材料の使い方、根拠の明確さなどについて意見を述べたり、自分の表現の参考にしたりすること
	2	書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係などに注意して、読みやすく分かりやすい文章にすること	書いた文章を互いに読み合い、文章の構成や材料の活用の仕方などについて意見を述べたり助言をしたりして、自分の考えを広げること
	3	書いた文章を読み返し、文章全体を整えること	書いた文章を互いに読み合い、論理の展開の仕方や表現の仕方などについて評価して自分の表現に役立てるとともに、ものの見方や考え方を深めること



⑥読書活動の充実に努める

子どもたちの「書く力」を高めるためには、
その基盤として読書活動の充実が必要なのは？

- 朝読書や家庭での読書活動を充実させることが必要ですが、ただ漫然と本を読むだけでなく、児童生徒の発達段階に応じて「目的に応じた読書」の指導をする必要があります。



小学校における「目的に応じた読書」の指導内容

小学校	第1・2学年	楽しんだり知識を得たりするために、本や文章を選んで読むこと。
	第3・4学年	目的に応じて、いろいろな本や文章を選んで読むこと。
	第5・6学年	目的に応じて、複数の文章などを選んで比べて読むこと。



中学校における「読書と情報活用」の指導内容

中学校	第1学年	本や文章などから必要な情報を集めるための方法を身に付け、目的に応じて必要な情報を読み取ること。
	第2学年	多様な方法で選んだ本や文章などから適切な情報を得て、自分の考えをまとめること。
	第3学年	目的に応じて本や文章などを読み、知識を広げたり、自分の考えを深めたりすること。



⑦求められている力を育むための指導例

■ 条件に合わせて自分の考えをまとめる力

自分の知識や経験、考えなどに関係付けながら文章を読み、それに対する自分の考えを条件(字数など)に合わせて簡単に書いたり、詳しく書いたりすることができるように指導することが必要。

<指導例>

文章から把握できる事実を根拠として挙げながら理由を明確にして自分の考えをまとめて書くことや、考えたことを発表する交流活動を通して、必要に応じて、他者の考えを自分の考えに取り入れることができるようにする。授業の中で、共通点や相違点に目を向けさせる活動を行い、読み手を意識し表現を工夫するような学習活動に取り組む。

- ✓ 「書くこと」の領域に限らず、全ての活動の中で...
- ✓ 日々の授業の振り返りの中で...
- ✓ 帰りの会(SHR)での3分日記(短作文)の中で...



「書く」